

田中ひさや政策推進活動など来年度の方針を満場一致で承認

傍島征夫 通信員

JAM岐阜シニアクラブ第18回定期総会を10月27日（土）ワークプラザ岐阜会場で会員、役員、来賓を含め55名の参加で開催した。岩田議長の進行によって、はじめに来年の参議院議員選挙に立候補予定の「田中ひさや」JAM組織内候補予定者が挨拶をされ、日本の未来に向けて9つの政策を熱く述べられた後、全員の激励の拍手で見送りをした。

主催者を代表して北村務会長から今日まで活動してきた内容が話され、昨今自殺者が非常に多くなった要因は多種多様ではあるが命の大切さが、若者達や高齢者にも増加しつつある現状に驚きを感じている。また、安倍政権は、平均寿命が延びていることに目をつけ国の財政が悪化したのは社会保障費が増加したためとして給付に制限を加え、介護保険料も引き上げようとしている。来年度の参議院議員選挙では安倍政権を倒していかなければならない。それには「田中ひさや」候補予定者を国政へ送り、頑張っていていただくよう会員の皆様のご支援ご協力を頂きたいと熱く述べられた。また来賓のJAMシニアクラブ大野事務局長より、本総会のお祝いと激励の言葉、それに組織拡大にJAM岐阜への協力を述べられた。

その後各議案を審議①2018年年度活動経過と決算報告、②2019年度の活動方針案、③予算案を中島事務局長が提案、会計監査報告は高木監査から、また④規約改正を事務局長より提案しすべての議案が提案通り賛成多数で承認された

活動計画では、野外活動や研修会を昨年通り実施し交流の輪を広げJAM本部機関紙への寄稿、および「岐阜シニアすこやか号」についても継続発行に努めることとした。

終了後昼食会を兼ねた懇親会を行い、お互いに酒を酌み交わしながら旅行や近況の会話に花が咲き、シニア活動への相互理解を深めることが出来た。



